



『We 鏡中』

令和7年 4月18日

☆彡「ボランティア活動…」

4/19(土)にKKPプロジェクト「虹の松原クリーン大作戦」がNPO法人KANNE主催で実施されます。生徒会から呼びかけがあり、本校からも10数名の生徒が参加すると聞いています。素晴らしいことだと思います。学校の授業中にするのでもなく、強制ではないボランティアに参加することが「We love  鏡中」の実践だと考えています。私もボランティアに申し込みました。これからでも参加しようと思う生徒は、当日受付もあります。一緒に活動できれば嬉しいです。ボランティア活動を鏡中に根付かせてほしいです。チラシもはなまるで送信します。

昨今ではボランティア活動を入試の時に評価する学校も増えました。通常、人間は、行動を起こすモチベーションとして、お金、楽しい、褒められる(評価される)など、自分の利益になることがあるから行動を起こします。それに対して、ボランティア活動は、無償、褒められもしない(誰かから評価されない)、決して楽しいことばかりではないことをすることになります。そういった行為をすることができるということは、自分に直接的な利益をもたらさない事であっても行動を起こすことができるということで、その人の人間性を評価しようということだと思います。

この頃は、ボランティアを評価してもらえからボランティア活動をするという人もいますが、それでも、行動を起こさないより行動を起こした方が社会の為になると思います。

鏡中生には、これからも積極的にボランティア活動をしてほしいと思います。やっていくと『人の為と思っていたボランティア活動が、自分自身の人生を楽しく充実させるものにするということ』を実感できるようになってきます。それを実感出来たら、面接等でも自信をもってボランティア活動から何を学んだかを語ることができると思います。

☆彡「生徒会オリエンテーション」

4/15(火)1年生に対して生徒会オリエンテーションが開催されました。生徒会本部役員の生徒がパワポの資料をつくり丁寧に説明しました。生徒会本部の生徒も素晴らしかったのですが、1年生も整然と並びしっかりと話を聞いていました。素晴らしい態度でした。写真が小さくて見にくいかもしれませんが、上靴が右側に整然と並ぶ様子は気持ち良かったです。



4/18(金)には、総務認証も行いました。また、生徒会の各専門部員も決まりました。民主主義の社会において、リーダーを選ぶことの重要性とともに、選んだリーダーをどのように支えるかということも非常に大切です。選ばれたリーダーがリーダーとしてどのように振る舞う必要があるかは、言うに及びません。生徒会活動を頑張って欲しいです。

「生徒の 生徒による 生徒のための 生徒会」が、かつての鏡中学校生徒会の何十年も変わらないスローガンでした。今はその言葉を使っていないようです。この言葉は、リンカーン大統領がゲティスバーグでの短い演説で使用した言葉を変えたものですが、民主主義を学ぶ上で、最も大切なことが示されています。生徒たちには、その言葉をかみしめて欲しいと思います。